

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-⑥	活発な市民の交流を促進する	企画政策部、市民部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単 位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
友好都市との小学生交流 事業の参加者数（年間）	人	-	19,179	0	11,950	320	達成
国際交流活動推進事業 参加者数（年間）	人	4,509	1,006	1,065	1,781	6,190	未達成
外国籍市民相談窓口人数 （年間）	人	166	461	1,035	1,193	1,680	未達成
市民・大学交流委員会 主催の事業数（年間）	事業	14	6	10	14	18	未達成

関連事業				
○市民・企業・大学等交流事業○国際交流活動推進事業○友好都市交流推進事業○多文化共生推進事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	6,935	10,851	11,952	
執行率（%）	50.56	73.67	71.32	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムを利用した写真コンテストや、新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式に沿った形で、友好都市うまいもんフェアや伊豆市梅狩り体験ツアーを実施したほか、学校給食交流では、各市の郷土料理等を通して小学生に友好都市の魅力を紹介しました。また、ローレンス市との姉妹都市提携30周年記念のオンライン交流や東海大学留学生ホームビジットを実施したほか、リトアニア共和国の文化や歴史等を市民に紹介して、国際感覚と国際意識を高めました。さらに、カウナス市との交流では、市民交流組織を設立したほか、教育分野を中心とした交流事業を実施しました。 ・外国籍市民相談窓口を本庁舎1階に移転し、16言語で対応したほか、毎月第4火曜日に出入国管理・在留資格相談を実施しました。また、テレビ通訳システム用タブレットを4課及び貸出用として1台配備し、外国籍市民が母語で相談できる環境整備を進めました。

- ・平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光・産業の5つの推進部会により事業を実施し相互の交流が行われました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・友好都市と交流することが双方にとって望ましいことであるという市民の意識を高める必要があります。また、ローレンス市やカウナス市との交流を継続するほか、市民の異文化理解を促進する必要があります。
- ⇒引き続き、市民ニーズを踏まえた様々な交流事業を実施し、友好都市の魅力を発信するとともに、友好都市との交流をより深める効果的な事業内容や実施方法について各市と検討していきます。また、ローレンス市やカウナス市との交流を市民主体で関係団体と連携して実施するほか、国際交流員を活用した事業やオンライン交流などを実施します。
- ・外国籍市民相談窓口等において、対応できない言語やテレビ通訳システムを導入していない課もあることから、「やさしい日本語」の活用も必要となります。
- ⇒外国籍市民相談窓口がさらに利用されるよう周知に努めるとともに、職員が「やさしい日本語」で対応できるよう職員研修などを実施します。また、日本語教室について各団体と連携及び情報共有をして充実を図ります。
- ・平塚市民・大学交流事業を実施する当たり、天候や学生の参加者数に左右されない事業を検討する必要があります。また、多くの市民の参加や多様な人材の社会参画を促す必要があります。
- ⇒平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で事業を実施するに当たり、多くの市民が参加していただけるように、開催方法を見直すとともに、新たな事業の提案や各課事業の掘り起こしに取り組みます。また、事業実施後に評価を行い、市民・企業・市がより一層活性化するような事業を検討し、実施します。